

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月25日
更新年月日	( )
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	唐津市 (41202)
地域名 (地域内農業集落名)	成渕 (成渕)

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	80.0 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	79.6 ha
② 田の面積	24.0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	54.8 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	— ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	— ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	— ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	— ha
(備考)	

## (2) 地域農業の現状及び課題

当地区は、後継者不足・高齢化が進み荒廃地も増加している。 中山間地域等直接支払や多面的機能支払等での協定のもとに集落共同で保全活動を行っている。 【基礎データ】 主な耕作者: 27世帯(うち50代未満3人) 主な作物: 茶・みかん・施設キュウリ・水稻
---

## (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

離農者が出て折に近隣耕作者での農地の耕作継続を地区内で調整しており、結果的に農地の集約化が進んでいる。 これを継続する。 また、地区としては空き農地への集落外からの経営体参入についても、共同管理の分担や荒廃地管理の軽減等が期待できることから立地・耕作条件等が合致する作物・耕作者の参入については肯定的である。
--

## 2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針
離農等の機会で適宜隣接耕作者への集約の検討を進め、作業効率化を図る。
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標
現状の集積率 45 % 将来の目標とする集積率 52 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標
効率化が図れる範囲で認定農業者等の集積を進める

### 3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
離農者が出る折に近隣耕作者での農地の耕作継続を地区内で調整しており、結果的に農地の集約化が進んでいる。これを継続する。
(2)農地中間管理機構の活用方法
利用権設定等で活用することを見込む。
(3)基盤整備事業への取組
基盤整備事業は大方完了しており、新規の要望は今のところない。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
基盤整備事業で水の確保ができていいながら活用できていない条件のよい空き農地があり、未活用地の荒廃は近隣耕作者での管理負担となることから、条件が合致する多様な経営体の外からの新規参入については肯定的である。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
個人で受託センターを使用する人は既におり、各々が必要に応じて検討するものとする。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)									
<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等					
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他					
【選択した上記の取組内容】									
①電牧等の要望・設置などで都度協力する。 ②減農薬・減肥料については多くの耕作者が取り組んでおり、これを継続したい。 ⑤改植等の折で果樹への植え替え等が一部耕作者で進んでいる。 ⑦⑧水路・農道・ため池の管理を集落で共同している。 ⑩地域計画及び目標地図の変更が必要となる場合は、適宜協議の場を設置することを基本とするが、住民負担の軽減を図るために、多面的機能支払の活動組織や中山間の集落協定、生産組合など農業者を参考する会議を活用して変更案の内容協議や意見の取りまとめを行うなど、簡易な方法による協議を行うことができるものとする。									

### 4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	水稻	3.0 ha	- ha	水稻	3.1 ha	- ha	1		
認農	施設キウイ 露地ミカン・水稻	6.1 ha	- ha	施設キウイ 露地ミカン・水稻	6.5 ha	- ha	2		
利用者	水稻	0.3 ha	- ha	水稻	1.1 ha	- ha	3		
利用者	露地みかん	3.9 ha	- ha	露地みかん	4.2 ha	- ha	4		
認農	茶・露地みかん・水稻	8.1 ha	- ha	茶・露地みかん・水稻	9.1 ha	- ha	5		
認農	茶・施設胡瓜・露地みかん 水稻・露地高菜	7.9 ha	- ha	茶・施設胡瓜・露地みかん 水稻・露地高菜	7.6 ha	- ha	6		
認農	茶・露地みかん 水稻	6.8 ha	- ha	茶・露地みかん 水稻	3.7 ha	- ha	7		
利用者	水稻	3.8 ha	- ha	水稻	4.5 ha	- ha	8		
利用者	キュウリ	0.7 ha	- ha	キュウリ	1.0 ha	- ha	9		
利用者	水稻	- ha	- ha	水稻	3.0 ha	- ha	10		
認農	施設キウイ・水稻	2.9 ha	- ha	施設キウイ・水稻	3.4 ha	- ha	11		
認農	茶・施設キウイ・水稻	0.2 ha	- ha	茶・施設キウイ・水稻	1.9 ha	- ha	12		
利用者	キュウリ・水稻	1.1 ha	- ha	キュウリ・水稻	1.6 ha	- ha	13		
認農	飼料用稻	0.6 ha	- ha	飼料用稻	2.6 ha	- ha	14		
利用者	水稻	0.8 ha	- ha	水稻	0.8 ha	- ha	15		
利用者	水稻	0.8 ha	- ha	水稻	0.8 ha	- ha	16		
利用者	果樹	1.0 ha	- ha	果樹	1.3 ha	- ha	17		
利用者	水稻	0.0 ha	- ha	水稻	3.9 ha	- ha	18		
利用者	-	0.2 ha	- ha	-	0.5 ha	- ha	19		
利用者	水稻	3.3 ha	- ha	水稻	3.0 ha	- ha	20		
利用者	-	1.1 ha	- ha	-	1.0 ha	- ha	21		
認農	茶・水稻	3.3 ha	- ha	茶・水稻	6.7 ha	- ha	22		
利用者	水稻	0.0 ha	- ha	水稻	0.9 ha	- ha	23		
利用者	-	0.1 ha	- ha	-	0.1 ha	- ha	24		
利用者	-	2.3 ha	- ha	-	1.9 ha	- ha	25		
利用者	-	- ha	- ha	-	1.2 ha	- ha	26		
利用者	ヤマイモ	0.7 ha	- ha	ヤマイモ	0.2 ha	- ha	27		
利用者	-	0.4 ha	- ha	-	0.6 ha	- ha	28		
計	28経営体		59.5 ha	ha		76.2 ha	ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)
-------------	--	---------------

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。